

渡辺議員（広志会）

令和3年2月22日
教育長答弁実録
(教育委員会)

(問) 県立高等学校の再編整備に係る地元への説明について(再質問)

私は、事実確認としてお聞きしたいという言い方で教育長にお聞きしたが、どうしてこのような聞き方をしたかという、私たちがこの重要なことを決める判断にとっても大切な材料だからである。何度もここで申し上げたが、教育委員会の言っている説明と、地元の皆さんが考えている説明にとっても広い乖離がある。私たちは、事実確認をしないで、このことを議決することはできないため、とても重要な問いである。それを、数字を持ち合わせていないというような答弁をするなんて、考えられない。私は具体的にいつ、誰が、どのような手法でということ質問した。どのような手法で行ったかによって、見方は大きく変わるため、手法がどういうものだったのかは、私たちにとって重要な判断となるため、この議場の場でぜひお答えください。

(答)

まず、時期につきましては、どなたに何月何日というところまでの資料は持ち合わせてございませんでしたけれども、1月4日から8日の間に、御説明をさせていただいております。

その手法につきましては、学校長のほうが、こういった関係者の方々に一番身近だということで、両校の生徒、それからご支援いただいている学校運営協議会の会長、PTA会長、同窓会会長に、校長を通じて説明をしたところでございます。

なお、これまでの生徒募集の停止におきましても、おおむね同様の時期に、同様の対応を行っております。